

御堂筋デザインガイドライン

御堂筋本町南地区

- Ver.1.1 -

令和3年4月

大阪市

目次

頁

1. はじめに

- (1) デザインガイドラインの目的と基本的な考え方..... 1
- (2) 対象となる行為..... 1
- (3) 対象範囲 2

2. まちづくりの目標

- (1) 御堂筋らしさとは..... 3
- (2) 御堂筋エリアの将来像 4
- (3) 本町～長堀 区間のまちなみ創造の方針 5

3. 御堂筋にふさわしいにぎわいと魅力あるまちなみのルール

- (1) 落ち着きと高級感のある複合市街地の形成に向けて 6
- (2) 高級なにぎわいのあるまちなみの形成に向けて..... 12

4. デザインガイドラインの運用について

- (1) 各ルールの留意点..... 26
- (2) 運用手順 28

1 はじめに

(1)デザインガイドラインの目的と基本的な考え方

○目的

<まちの将来像とまちなみ創造の作法の共有と協議型まちなみ創造の実践>

- ・都市を取り巻く状況が大きく変化する中、大阪の成長を牽引する都心の活性化が不可欠となっており、御堂筋沿道及び周辺では、これまで培ってきた業務・商業集積地の強みを活かしながら、24 時間稼働する魅力的な多機能エリアをめざし、大阪の伝統と革新が生み出す世界的ブランド・ストリートとして、御堂筋沿道を次世代に向けて再生・発展させていくこととしています。その実現に向けては、国内外を問わず、土地所有者、建物事業者、店舗等のテナント事業者等、まちづくりに参画するすべての人々（以下、事業者等）が御堂筋エリアの将来像と、御堂筋沿道における景観形成だけでなく幅広い視点からのまちなみ創造の作法を共有する必要があります。そこで、本市では、その羅針盤として本ガイドラインを策定し、本ガイドラインに沿って本市と事業者等が協議を行うことにより、デザイン等を適切に誘導し、もって、大阪のシンボルストリートにふさわしいにぎわいと魅力あるまちなみ創造、ひいては、御堂筋の活性化を推進することを目的とします。

<進化するガイドライン>

- ・本ガイドラインは、社会環境・経済情勢の変化等に対応して、その内容を適宜見直し、より望ましい姿へと進化させていくこととしています。将来的には地元組織等による運用（テナント更新時等の自主的運用、メンテナンス等）も想定しています。

○基本的な考え方

<より良いまちなみを実現するための指針等の明示>

- ・より良いまちなみの実現をめざし、個性と質の高いまちなみを形成するための形態誘導や、にぎわい形成のための低層部の建物用途、屋外広告物などは、具体の指針等を示します。
- ・また、居住施設を含む建築物の外観デザインや低層部のにぎわいの質などについては、一定の条件のもとに事業者の創意工夫に委ね、魅力的で陳腐化しないまちづくりの実践を誘発することを意図しています。ガイドラインではそのための共通の判断をしやすくするため、望ましい参考事例等（写真等）を列挙しながら、指針等を示します。

(2)対象となる行為

- ・以下の行為を対象とします。以下の行為を行う場合は必要な協議を行ってください。
 - ・建築物を新築、増築、改築、移転する場合
 - ・道路に面する外観の模様替え、外構の模様替えをする場合
 - ・用途変更、大規模の修繕又は大規模な模様替えをする場合
 - ・屋外広告物を設置、増設、表示の変更、移設、改造する場合

(3)対象範囲

- 本ガイドラインでは、御堂筋沿道として、御堂筋から、東西方向に1街区、南北方向は中央大通から長堀通までの、以下の範囲を対象とします。(以下【本町～長堀 区間】)ただし、心齋橋筋に面する敷地で、御堂筋に接していない敷地は除きます。



2 まちづくりの目標

(1)御堂筋らしさとは

- ・御堂筋エリア（中央大通から長堀通）は大阪を代表するビジネス地区である御堂筋本町北地区と商業集積地であるミナミとの間に位置し、業務のみならず高質な商業施設等が集積しています。
- ・こうした御堂筋沿道エリアが有する、伸ばしていくべき強みと克服すべき課題を踏まえ、まちの将来像を設定しています。
- ・この将来像を実現していくために必要なまちなみ形成のルールを取りまとめることとします。

○地域の強み

【御堂筋エリア全体】

- 業務・商業地の集積、ブランド
- 大阪の伝統や文化の存在
- 御堂筋などの歩いて楽しめる都市環境 等

【本町～長堀 区間】

■空間的な落ち着き

- ・都心でありながら、空間的な落ち着きを持ち合わせている地区。

■時代のニーズに合わせて表情を変える多機能複合空間

- ・御堂筋沿道であるブランドは保ちつつ、淀屋橋～本町、長堀～難波間の機能が融合し、時代のニーズにあわせて表情を変えることができる多機能複合空間。

○課題

【御堂筋エリア全体】

- 都心のマクロトレンド（24時間化・多様性、安全・安心）への対応
- 御堂筋の「強み」を発揮したまちづくり

【本町～長堀 区間】

■業務エリアと商業エリアを結ぶエリアとしての役割の発揮

- ・業務エリアと商業エリアを結ぶエリアとして、強みをいかした特色のさらなる発揮。



(2)御堂筋エリアの将来像

○御堂筋エリア全体

- ・前項を踏まえ、御堂筋エリアの今後の将来像（ビジョン）について、次のように定めます。

【コンセプト】

大阪の伝統と革新がうみだす世界的ブランド・ストリート

～歩いて楽しめ、24時間稼働する多機能エリアへ～

【今後の御堂筋エリアの方針】

1. 安全・安心かつ複合的な都市機能を備えたまちへ
2. 御堂筋の強みをより発揮した大阪の顔にふさわしい世界的なまちへ

【各分野における取組方針】

(主に機能面)

1. 世界を魅了する個性豊かな「にぎわい」の形成

～御堂筋フェスティバルモール化

- ・世界を魅了する大阪・関西一の「ハレ」の場として、クオリティの高いデザインストリートの実現などにより、キタからミナミまで各エリアの個性をいかした多様なにぎわいを形成することで、御堂筋のブランド力の向上を図る。

2. 多様な機能をあわせ持つ「ビジネス」地区の形成

- ・エリアのブランドや歴史・風格ある都市環境等を強みとした大阪を代表する業務集積地を形成する。
- ・業務機能を軸としながらも、業務機能の強化に資する多様な機能（商・学・住等）の導入を図る。
- ・また、防災機能及び効率的なエネルギーの活用などにより環境性能の向上を図り、エリア全体として国際レベルの都市機能を備えたビジネス地区の形成をめざす。

(主に空間面)

3. ヒューマン^{*}かつ高質な「都市環境」の形成

- ・統一感のある都市景観を継承しつつ、ヒューマンスケールのまちなみ形成を図るとともに、人中心の道路空間への再編の動きと連動しながら、ヒューマンかつ高質な「都市環境」の形成を図る。

(※「人間らしい」「人間的な」という意味から、ここでは「人間本位の」「人が主役となる」という趣旨で用いています。)

○本町～長堀 区間

【コンセプト】

特別な時間を愉しむことができる落ち着いた複合地区

落ち着いた空間の強みをいかし、都心の多様性、多機能化といった時代のニーズに合わせた特色の発揮

(3)本町～長堀 区間のまちなみ創造の方針

【落ち着き】	落ち着きと高級感のある複合市街地の形成
【にぎわい】	高級なにぎわいのあるまちなみの形成
【安全・安心】	安全・安心に配慮したまちづくり
【環境】	環境負荷の軽減に配慮したまちづくり